

IX 農林大学校 就農支援センター

1. 社会人課程の実習にて梅の加工を実施

6月27日、社会人課程の実習で白干し用の梅の塩漬けを行った。

研修生は職員の指導の下、ケシキスイ類対策のための水浸漬や、塩をまぶしながら行う梅の漬け込みをした。出来上がった白干し梅の利用の仕方について質問をする研修生に対し、白干し梅として一次加工した後、保存が利くことや調味梅やシソ漬け梅等に二次加工することを説明した。

今後、樽に漬けたウメにカビが発生しないように管理しながら1ヶ月後に天日干しを行い、白干し梅が出来上がる予定である。また、この白干し梅を用いて味付け梅干しの加工にチャレンジする。



梅の水浸漬



梅の漬け込み

3. UIターン就農相談フェアを開催

6月30日、和歌山県JAビル(和歌山市)においてUIターン就農相談フェアを開催した。相談会には県内への就農を考えている24組32名(県内11組、県外8組、不明5組)が来場し、それぞれのブースでは就農に向けてのアドバイスや支援策・研修の説明を幅広く行った。

今回の相談フェアは、相談者が足を運びやすいように会場を和歌山駅前に変更した。また、相談者がより就農時の経営と暮らしの見える化を図ることができるよう、市町村や農協にも出展を募り、新たに紀美野町・有田市・有田川町・由良町・田辺市やJA紀の里・JA紀北かわかみ、紀ノ川農協がブースを出展し、それぞれの支援や研修制度などについて情報提供を行った。

また、相談と並行して、新規就農セミナーを開催した。このセミナーでは、就農支援センターや農林大学校で研修を修了し就農した2名の方が、就農した際の苦労話やアドバイス、

現在の状況などについて発表し、質疑応答が行われた。参加者からは「就農するまでに必要な準備や心構えについて知ることができてよかった。」との声が多数聞かれた。

今年度は、11月17日と2月23日にも同会場にてUIターン就農相談フェアを行う予定であり、今後、さらに出展ブースを増やし、相談フェアの充実度を増していきたい。



相談ブース



新規就農セミナー



相談会場全体 1



相談会場全体 2